

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ウルトラ・ヒート	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.038	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：ウルトラ・ヒート**

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離  インチ

4-1/2

番

研磨剤

**比較対照ボール：ヒート**

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離  インチ

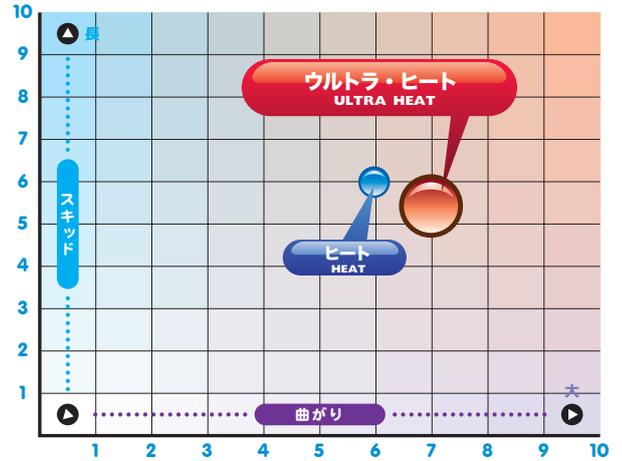
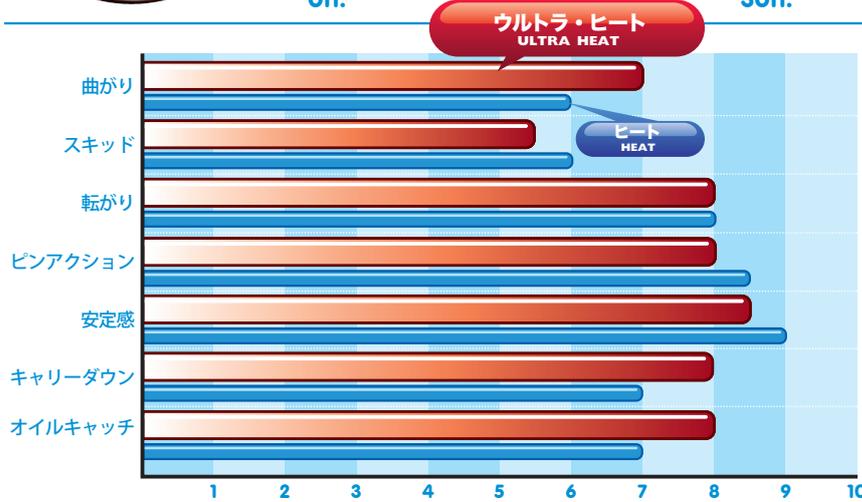
4-1/2

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション

バックエンドリアクション

レンジス

Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

TRACK社のHEATと聞けば、コロンビア社のERUPTIONとならぶ、より後半のオイルが枯れてきたコンディションで選ばれる、多くのユーザーが愛していたボールの一つと言えるでしょう。TRACK社は同じコンセプトのもと、新しいUltra HEATにHybrid CoverStockを追加して、より幅広い種類のパターンで投げられるようになりました。

Ultra HEATに採用されているDR-6 Hybrid CoverstockはHEATで採用されたDR-5 Pearl Coverstockよりもかなり強く、500/1000Abralon w Factory Finish Polishで施されたDR-6Hybrid Coverは、mediumのオイルパターンで強力なBackendの動きを魅せてくれます。そしてModified Tri-CoreはオリジナルのHEATとRGを完全にマッチさせて、より強いカバーとより良くマッチするようにしました。

比較投球してみるとHEATのDR-5 PearlとUltra HEATのDR-6 Hybridの差はもの凄く顕著にスキッドとキャッチの差を生み出していると感じました。HEATはスキッドを保ちながら緩やかにコントロール性の高い曲がるのに対し、Ultra HEATはスキッドは一段下がり、特にドライエリアの俊敏な反応からのフリップ系のメリハリ感は別物のようなイメージを受けます。ただ単純に投げ比べても”5のPearl”と”6のHybrid”でこれほどイメージが変わるものかと驚くほどです。

TRACK社のKINETIC EMERALDと比べてもUltra HEATの方が幅を取れて投球できるところも魅力の一つで、KINETIC EMERALD系のボールを探している方はこのUltra HEATが代用できる一つの候補となることは、高いレベルの仕上がりのボールをレポートに加えられることであり、MID performanceの領域に強い味方が出来たとも言えるでしょう。試す価値があるボールとして注目の逸品です。

### 特記事項

**TRACK社で扱いやすさの中に攻撃性を秘めたボールが発売されます。KINETIC EMERALDに変わるボールですので、その領域をお探しの方はこのボールは見逃してはいけません。**